第4回　校内研究授業　道徳科　第6学年2組　　令和元年10月2日（水）

主題名「友情を深める」

（B　友情、信頼）

教材名「ばかじゃん！」

＜本授業の意図＞

◯高学年の児童にとって、友達関係は何よりも重要な関心ごとである。自律的になる反面、偏見や独断等により、仲たがいをしたり、思い違いをしたりすることも少なくない。仲の良い友達から気になる言葉を言われた主人公の立場になり、相手のことを思い、立場を尊重して、友情を深めていこうとする気持ちの大切さに気付かせる授業である。

①自分だけが「ばかじゃん！」と言われていると感じ、どんな気持ち？

②かおりに声をかけた恵理菜の気持ちは？
「急に無視された理由を聞きたい。」

③かおりの話を聞いて、恵理菜は？
「もっと早く誤解を解いておけばよかった。」

④次の日の朝、恵理菜はどんな思いできのちゃんの席に向かったと思いますか。恵理菜の気持ちになって書いてみよう。
「話し合えば誤解は解けるかも。」
「きのちゃんも悪気があったわけではないのかもしれない。」

⑤これから友達とどのような関係を築いていきたいですか？」
ワークシートに書いてみよう。

⑥何人かの人に発表してもらいます！

⑦きのちゃんのように、自分の非を認めることや、恵理菜のように話し合って解決することって大事ですよね。

＜「主体的な学び」の実現に向けての手だて＞

・導入の工夫 ⇒ 初めから物語の概要を伝え、高学年にありがちな友人関係の問題であることを意識させてから本文を読んだ。児童がより物語の内容を把握し、自分事として授業に臨むことができた。

＜主な「考え」の変容＞

・友達とのトラブルが起きたとき。 ⇒ 「恵理菜みたいにちゃんと話し合って解決したい。」「トラブルが起きないように、誤解されるような言葉はつかわないようにしたい。」など。